

油症ニュース

2005年 創刊号

全国油症治療研究班

2005年11月1日発行

“油症”とは

1968年に福岡県・長崎県を中心とする西日本一帯で多発し、これまでに1891人の油症患者さんが確認されています。油症患者さんの大多数は1968年2月上旬に製造出荷されたカネミ・ライスオイルを摂取しており、この特定時期に製造・出荷されたライスオイルに、大量のカネクロール(PCB:ポリ塩化ビフェニール)が含まれていることがわかりました。さらに油症患者さんの分泌物や皮下脂肪等からもカネクロールが証明されました。その後の研究の結果、有毒なライスオイル中にはPCBが約0.1%存在するだけでなく、PCBが加熱されたために変化して生成されたPCQ(ポリ塩化クアターフェニール)が約0.1%、非常に毒性の強いPCDF(ポリ塩化ジベンゾフラン)が約0.0005%混在し、油症はPCBとこれらPCB関連化合物(ダイオキシン類)の複合中毒による症候群であり、PCDFがその主原因であることが明らかになりました。

■ 症状

油症では皮膚症状をはじめとして、神経症状、関節症状、呼吸器症状など実にさまざまな症状が認められました。

- チーズ様の目やにが出る
- 爪、歯肉、くちびるや口の中、目の回りなどの皮膚が黒くなる
- 黒にきびや赤みのあるにきびが多発する
- 顔面、腋の下、股などに小さな皮膚のふくろができる
- 肌が乾燥して毛穴が目立つ
- 顔や関節がむくむ
- 手足がしびれる
- 全身倦怠感、食欲不振などの全身症状があらわれる

油症患者さんの体内に吸収されたこれらのPCBおよびダイオキシン類は、腸管、皮膚、母乳、たんなどを通してゆっくりと排泄されるため、体内濃度は低下してきています。体内のダイオキシン類は微量であるため、精度よく測定することが困難でしたが、研究班の努力により比較的少ない採血量で測定することが最近ようやく可能となってきました。PCB/ダイオキシン類が長期にわたり人間の健康にどのような影響を及ぼすのか等については、まだ未解明の部分が数多く残されています。患者さんの健康を本当に理解するためには、患者さんの健康状態の把握、血液検査、PCB/ダイオキシン類の測定などの検診が非常に重要となります。

■ 油症検診

油症患者さんの治療は長期間にわたる経過観察が必要です。症状や身体異常の経過をみるために、油症患者さんを主な対象に毎年油症検診が実施されています。この検診は未だ、症状のある油症患者さんだけでなく、症状が軽快している油症患者さんにとっても非常に重要な検診です。年一回の油症検診は必ず受診しましょう。なお、検診についての問合せは後述の各都道府県にお問い合わせください。

■ 新しい油症診断基準ができました

いままでの油症診断基準に新たに、血液中のPCDF値を加え、より幅広く油症診断ができるようになりました。現在、この新しい診断基準に基づき診定作業がおこなわれています。新しい診断基準が導入され、現在(平成17年9月30日)までに、24名の方が新たに診定されています。

■ 油症の治療

現在、油症患者さんの体内のPCBやダイオキシン類濃度は健康な人と同じ程度まで低下している方が多いのですが、まだ高い濃度を示す方もいます。治療法としては、原因物質であるPCBおよびダイオキシンの排泄を促進するのが最も効果的ですが、残念ながら現在のところ確実に有効な排泄促進剤はまだ

2005年イベント スケジュール

2005年6月16, 17日

厚生労働省全国油症治療研究
班会議

九州大学百年記念講堂に於いて開かれ
ました。

見出されていません。コレステロール低下剤のコレステラミンと米ぬか繊維の経口投与はPCBの排泄を促進させますが、治療薬としての実用性は確立していません。従って、現在、動物実験を含めた治療法の開発研究を行っています。

■ 昨年の研究成果

6月16, 17日に開催されました油症班会議において、今後の油症治療に有益と思われる薬剤や、油症患者さんに特異的な検査法などが報告されました。その中の一部を紹介します。

PCBの代謝課程でスーパーオキシドが産生され、油症患者さんでは酸化ストレス状態と考えられています。九州大学呼吸器科の中西教授らはダイオキシンによる酸化ストレスはAhR(Aryl Hydrocarbon Receptor)を介して起こることを示し、その機能を阻害することで酸化ストレスが軽減することを示しました。また同薬学部の山田教授らはクルクミンというウコンの成分や胃潰瘍治療薬に用いられる化合物が動物実験においてダイオキシンの作用を阻害し、致死率を低下させることを示しました。同様に、ワインの成分であるポリフェノールの一種にもダイオキシンの作用を阻害する可能性があり、今後の研究が期待されます。

“油症“に対する漢方薬の臨床試験がはじまります。

2005年度から油症患者さんを対象とした、漢方薬の臨床試験が始まります。この臨床試験への参加は油症患者さんの自由ですので参加したいと思った方のみ試験を受けることができます。この臨床試験では、4種類の漢方薬が油症の症状を改善できるかを試します。4種類の漢方薬は今まで保険診療でも使用され、安全性についての情報が十分得られているものです。その4種類から、それぞれの油症患者さんの症状に一番あっている漢方薬を、一人に2種類まで選択します。試験デザインは、1種類を半年間ずつ内服する方法を採用しています。安全性については既に実際の診療で使用されている漢方薬であります。油症患者さんには使用していないため、何かしらの副作用が起こる可能性もあります。その場合はすぐに試験を中止し、適切な医療処置を行います。ダイオキシンの排泄などへの有効な薬剤、治療法がない現在、このような臨床試験を行うことは、治療法を模索している当研究班や直接油症患者さんを診察する医師、ならびに、油症患者さん自身にとっても、有益な成果が期待できるものと思っています。

油症相談員の活動

油症患者さんやその家族の方の病気に対する不安や生活など様々な悩みに対応できるようにと2002年から動員されました。油症相談員の聞き取り調査により、カネミ油症による健康への影響の実際が明らかとなってきました。今年度から健康調査をもっと充実させていきます。お忙しいとは思いますが、アンケート調査に是非ご協力ください。

■油症と出生比

これまで、ダイオキシンのによる中毒事件が起こった国から、ダイオキシン類が男女の出生比に影響を与えるという報告がありました。油症において過去の出生記録および調査をもとに出生性比を検討しましたが、異常はみられませんでした。今回さらに、油症相談員による聞き取り調査をおこなったところ、油症では出生比の低下は認められないことがわかりました。このことはダイオキシンによる人体への影響を解明するうえで、非常に重要です。今後も、油症相談員は油症患者さんの相談にのると同時にこのような聞き取り調査を行い、ダイオキシンの人体への影響を明らかにしていこうと研究班では考えています。なお、油症相談員へのご相談、お問合せは後述の各担当相談員にご連絡ください。

油症相談窓口一覧

全国油症治療研究班事務局

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

場所:九州大学医学部皮膚科教室

連絡先:092-642-5582

FAX 092-642-5600

担当:医師 古江増隆(研究班長)、
医師 柴田智子(事務局長、リサーチ
レジデント)、濱田(秘書)

油症相談員(2005年10月現在)

健康相談につきましては、ご連絡下さい。

看護師 飯尾 靖枝(いいお やすえ)

連絡先:090-4475-2451(福岡県在住)

准看護師 只熊 幸代(ただくま さちよ)

連絡先:080-1714-9227(長崎県在住)

看護師 山根 美喜子(やまね みきこ)

連絡先:080-1922-0980(広島県在住)

油症外来

場所:九州大学病院皮膚科

日時:毎週火曜日 午後

連絡先:092-642-5597

福岡県 行政 福岡県班(福岡、大分、宮崎)

場所:福岡県保健福祉部生活衛生課食品衛生係

連絡先:092-643-3280

長崎県 油症研究班

〒852-8501 長崎市坂本1-7-1

場所:長崎大学医学部皮膚科教室

連絡先:095-849-7333

FAX 095-849-7335

担当:医師 佐藤伸一(研究班長)、
医師 清水和宏

長崎県 行政 長崎県班(長崎、佐賀、熊本)

(油症対策委員会事務局)

場所:長崎県県民生活環境部

生活衛生課食品乳肉衛生班

連絡先:095-895-2364

行政担当(2005年度)

関東以北班(東京、川崎、埼玉、さいたま、茨城、長野、横浜、神奈川、栃木)

場所:神奈川県保健福祉部生活衛生課

食品衛生班

連絡先:045-210-4943

千葉県班(千葉)

場所:千葉県健康福祉部衛生指導課

食品安全対策室

連絡先:043-223-2638

愛知県班(岐阜、静岡、愛知、三重)

場所:愛知県健康福祉部生活衛生課

食品安全対策グループ

連絡先:052-954-6297

大阪府班(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)

場所:大阪府健康福祉部

食の安全推進課食品衛生グループ

連絡先:06-6941-0351(内線 2563)

島根県班(島根、鳥取)

場所:島根県健康福祉部薬事衛生課

食品衛生グループ

連絡先:0852-22-5264

広島県班(広島、岡山)

場所:広島県福祉保健部

衛生・被爆者総室生活衛生室

連絡先:082-513-3097

山口県班(山口)

場所:山口県環境生活部生活衛生課

食の安心・安全推進室食品衛生グループ

連絡先:083-933-2974

高知県班(愛媛、高知、香川)

場所:高知県健康福祉部健康対策課

連絡先:088-823-9678

鹿児島県班(鹿児島、沖縄)

場所:鹿児島県保健福祉部生活衛生課

食品衛生係

連絡先:099-286-2786

この新聞は油症治療研究班と患者さんをつなぐ架け橋です。事務局まで、皆様の声をお寄せください。個人の秘密は守ります。ただし、匿名のみの投書はお断りします。